

## 第2回生駒市総合計画審議会 第一部会

開催日時 平成30年7月31日(火) 13時30分～14時30分

開催場所 生駒市役所4階 401・402会議室

出席者

(委員) 中川部会長、森岡委員、福谷委員、吉田委員

(事務局) 坂谷秘書企画課長、岡村秘書企画課課長補佐、日高秘書企画課主幹、  
片山秘書企画課員

欠席者 なし

1 開会

2 案件

(1) 各小分野の検証 (No.143・144・461・471・472・473・481・482)

(2) その他

3 閉会

以下、発言要旨

1 開会

【事務局】 ただいまから、第2回総合計画審議会 第一部会を開催します。

【事務局】 (資料確認)

2 案件

(1) 各小分野の検証

No. 143 財政

【中川部会長】 (質問と回答説明)

【森岡委員】 2億円分を取り戻すのは難しい。お酒は人気がある。

【中川部会長】 以前、東京で勧められたお酒が生駒のお酒だった。ふるさと納税の返  
礼品にお酒はあるか。

【事務局】 少し入っている。

【中川部会長】 評価はAで良いか。

【各委員】（異議なし）

#### №. 144 職員・行政組織

【中川部会長】 評価は全員Bである。生駒市は人事や職員体制に努力している。現市長は、職員採用や職員体制を重要視している。そういう意味では成功していると言える。

【事務局】 職員採用試験も、毎年約1,000人の応募がある。ただし、行財政改革で職員数を徐々に減らしている。

【森岡委員】 職員数を減らし過ぎると部下のいない担当部長や担当課長が増え、職員のやる気や向上心の低下につながるので、留意が必要である。

【中川部会長】 不景気だからと職員採用をストップすると、結局は自分たちの首を絞めることになる。不景気でも採用し、好景気でも採用を適度に絞ることで、一定数の職員数を確保することが大事である。公共事業も同様で、不景気でも赤字を出してでも公共投資事業を行ったり、好景気でもお金の使い方に節度を守るのが行政の仕事である。そのような景気調節を行なうのも行政の役割である。4年後のまちが概ね実現されているということで、Bでよいか。

【各委員】（異議なし）

#### №. 461 バリアフリー

【中川部会長】 （質問と回答説明）

バリアフリーは90.8%まで完成するということだがどうか。

【森岡委員】 駅前周辺や旧市街地の路地裏の細い道はまだ危険が多い。坂道が多いため、子ども連れするときなどは路地裏の細い道を通る。裏道には危険性が多く潜んでいる。市職員と地域の人が協働でやる気持ちにならなければ、問題は解決できない。

【中川部会長】 「市道だけでなく、私道、里道、旧里道まで目を配って、危ないところは課題解決策を出してほしい。『市道ではないので責任はもてない』という言い方で留まってほしくない。それが行政的な積極的な踏み込み方ではないか」という提示を意見としてつけてほしい。そのようなこと

も踏まえ、評価はCで良いか。

【各委員】（異議なし）

#### No. 471 災害対策

【中川部会長】（質問と回答説明）

【森岡委員】 避難者は各小学校に、最低限のものはすべて配備されていると思って避難して来る。しかし行ってみると、毛布1枚もないところがあるというのは、公平性の観点で欠けている。決して防災倉庫を設置してほしいと言っているわけではない。

【中川部会長】 市民にとっての避難拠点は小学校なので、「身近な小学校に整備を拡充してほしい」ということである。古いマンションの耐震工事について「要望があれば市にて耐震改修工事補助金の予算要求を検討する意向ではあります」は、市が補助金を制度化する考えがあるように聞こえる。

【事務局】 国の耐震改修補助の制度を活用する。国、市、自己負担が3分の1ずつというイメージの補助金である。

【吉田委員】 「基準に適合しないと判断された生駒小学校及び生駒南中学校のブロック塀については、撤去を完了しており」と、既に取り除いているようなので安心した。

【事務局】 公共施設を点検して、緊急性のあるものとそれほど急がないものに分類した。1. 8mの塀が全長120mほどあった生駒小学校のフェンスは撤去した。それ以外も予算を伴うものは、今年度中に対応するものと来年度以降に対応するものに分ける。古いマンションの耐震改修工事については、まずは耐震診断の補助金がある。

【吉田委員】 それは3階以上でも対象になるのか。

【事務局】 対象になる。そもそもマンションから耐震診断の申請がないため、工事の予算も取っていない。耐震診断をしなければ改修できない。

【中川部会長】 制度がなければ、耐震診断のインセンティブが働かないので、「耐震診断してデータが上がってきたら、市は予算要求する」ではなく、「補助制度があるから耐震診断を行なう」の方が良い。また、防災無線について、「防災無線の声が聞こえないという声が、市内各地の自治会から

言われている。訓練日を設定して音量の点検をしないといざというときに役に立たない」という指摘がある。

【事務局】 約5年前に防災行政無線を設置したが、「聞こえにくい」という声があったため、今年7月1日から、防災行政無線の放送内容を再度電話で聞くことができる「教えてダイヤル」を設置した。

【中川部会長】 評価はBとCで意見が分かれていたが、Bで良いか。

【各委員】 (異議なし)

#### №. 472 自主防災

【中川部会長】 「自分たちで自主防災を作る、という考えがもっと広がれば良いと思う。Bに近いC」という意見が出されている。

【福谷委員】 防災活動に対して役員だけが一生懸命であり、住民は「やっているから行こう」と受動的であり、その温度差が激しいところもある。役員だけでなく全員が積極的に行なう考えにならないといけない。

【中川部会長】 防災訓練などの取り組みを、意識の高いリーダーや情報を入手しやすい人ばかりが参加するのではなく、情報に触れにくい人や体が弱い人など、普段あまり声がかからない人にも意識を広め、全住民が参加する方向に向けて、より一層進めてほしいということである。評価はCで良いか。

【各委員】 (異議なし)

#### №. 473 消防

【中川部会長】 「広報というとまじめで硬くなりがちだが、それでは市民に浸透しない。ここ最近はSNSを使った情報発信・PRが活発になっているが、まだまだ市民の認知度は低いと思う。今後も市民をまきこんだフェスタ的な催しなど積極的に取り組んで、市民の協力、理解を得ることが、市民の安全につながると思う」という意見が出されている。

【福谷委員】 昨年消防フェスタ“IKOMA51”を開催したが、アンケートを見ると、「より身近に感じた」、「毎年開催してほしい」などといった好意的な意見が多かった。消防は「何かあったときのため」というイメージ

ジが強いが、毎年市民が参加できる催しを行なって、普段から市民に身近に思ってもらうことが、消防の理解につながり、ひいては安全につながると思う。

【中川部会長】 消防に関する施策はレベルが高く、昨年の評価もBだった。このような評価をする場合、Aは「これで十分」という評価になってつけにくい。意見で「市民を巻き込むフェスティバル的な催しを積極的に行ってほしい」ということをつけ加えてほしい。生駒の消防は、市外でも評判が良い。奈良県内でも、初動スピードが速いというデータがある。

【事務局】 奈良県内では、奈良市と生駒市が単独の消防をもち、その他は広域消防組合が管轄している。通信指令だけを奈良市と生駒市が共同で運営している。3つの指標も良くなっている。

【中川部会長】 生駒市の、出動時間や出動タイミングなどの消防成績はトップクラスだが、人口に対する出火件数などの市民の成績はあまり良くない。

【福谷委員】 いまだにいろいろなところで野焼きを見かける。家の前でしていた野焼きの火が広がって消防車が来たことがあり、風が強いときでも燃やしている人がいる。

【事務局】 救急面もかなり取り組んでいる。

【福谷委員】 「#7119」の件数は増えているか。

【事務局】 件数は把握していない。「#7119」ができて、前さばきができるようになったが、救急件数は増加傾向にある。

【中川部会長】 ちょっとしたことですぐに救急車を呼ぶため、本当に必要な重篤な人のところに救急車が行けず命を落とすことがある。深刻な問題である。

【事務局】 奈良県救急安心センター相談ダイヤルを開設しており、「#7119」にダイヤルするとそこにつながる。医療機関にかかるのが良いか、救急車を呼ぶのが良いかという相談を24時間体制で受け付けている。適正な救急車の利用が進むよう、平成21年から取り組んでいる。

【福谷委員】 全国でも何ヶ所かしかないのか。

【事務局】 すべての都道府県がやっているわけではない。

【中川部会長】 評価はBで良いか。

【各委員】 (異議なし)

## №. 481 交通安全

【中川部会長】 昨年、「自転車のマナーが悪い」という意見があったが、何かアクションは起こしたか。

【事務局】 このシートには記載していない。

【中川部会長】 施策としては「生駒市交通安全高齢者自転車大会」を開催し、中学校でも自転車の安全教室を開催するようになり、自転車等放置禁止区域に関する取り組みも行っている。他にプラスすることはあるか。

【森岡委員】 自分が減速すればよいのに、後ろから警笛を鳴らして道に入ろうとする人がいるが、いきなり警笛を鳴らすので驚く。細い道を走るときに、横から割り込みされないようずっと警笛を鳴らして走るなど、警笛の使い方を間違っている人がいる。携帯電話を見ながら運転する人や煙草を吸いながら運転する人もいる。毎朝30分国道沿いに立っているが、信号が赤でも無視して走る人がいる。交通ルールや交通マナーのキャンペーンが必要である。

【中川部会長】 評価のBは変わらないと思うが、今の「交通安全教育や交通安全に関する学習の中に、警笛のマナーや歩きながらのスマートフォンなどの現代的な課題をさらに取り入れて、小中学校、高校でも周知するように図ってもらいたい」という意見を入れたい。

【福谷委員】 春と秋の交通安全運動期間中は決まった所でよく警察官を見るが、それ以外はほとんど見ない。警察官が立っているだけでも様々な抑制になる。

【中川部会長】 「警察官が社会に露出するだけで抑制効果があるため、生駒警察署等の警察官の路上での指導等を強化してほしい」も付け加えてほしい。

【森岡委員】 もうひとつ付け加えるとすれば、「警察官の日常的な取り組み」である。危険な地域が多いため、そのようなところへの取り組みも大切である。

【中川部会長】 「生駒警察署との連携を強化し、かつ生駒市の各地域における生駒警察署の社会認知を強化するよう努めてほしい」ということである。警察も人数が減ってきている。

【事務局】 朝の通学時間に、一方通行を逆走するような地域を重点的に、警察官が立っている。住宅地の開発に伴って危険な場所も変わるため、地域から「ここが危ない」という声を警察に上げてもらえれば、警察も優先順位をつけやすい。今年、生駒ロータリークラブが社会貢献活動として、防災安全課と一緒に各小学校で交通安全教育プログラムを展開している。このような行政と民間が協働して行う活動が広がれば良い。

【中川部会長】 市行政と警察との協力関係をもっと強化して、市民に身近な警察になる取り組みを行なってほしいということである。評価はBで良いか。

【各委員】 (異議なし)

#### №. 482 防犯・消費者保護

【中川部会長】 全員C評価である。まだそれほどできていないという評価か。

【吉田委員】 私は子どもがいるので、携帯電話で不審者情報を受けているが、詐欺の情報もほしい。以前広報紙を見る人が少ないという話があったが、最近が高齢者もスマートフォンをもつ人が多いため、そのような情報提供があれば良い。地震情報は大きな音で強制的に見るようになっている。詐欺の情報は不要な人もいるため、見たい人が登録して見れるようにすれば良い。様々な事例が頭にあるのとないのでは意識が大きく違うと思う。

【中川部会長】 スマートフォンなどで様々な情報を選択して受け取れる仕組みがあれば良いということか。特に防犯でということか。

【吉田委員】 そうである。スマートフォンであれば情報を見やすい。

【福谷委員】 生駒市は詐欺被害が多いと聞く。ただし、防火訪問で一人暮らし高齢者宅を回る際に電話があったという話をよく聞くが、疑いをもって撃退したという人が多いため、詐欺を認識できている人が多いという印象がある。

【事務局】 平成29年の奈良県全体の振り込め詐欺は158件、被害額は約3億7,000万円、うち生駒市は22件、被害額は約5,300万円である。以前は還付金詐欺が多かったが、今は県内全体で架空請求が増えている。生駒市も注意喚起をしており、電話機につけて特殊詐欺を撃退す

る装置に対する補助を行なっている。

【吉田委員】 子どもこそスマートフォンで情報を仕入れる。親が登録して、子どもも情報を得られるようになれば良いと思う。

【事務局】 それについては、「生駒市こども安全メール」を作っている。

【吉田委員】 不審者の情報は受けている。様々なところに危険が潜んでいるという講習はあり、親も言うが、子どもはあまり身近に感じていない。同じ年齢の子どもが詐欺に遭った事例を見れば、子どもにも分かりやすい。勝手に操作して詐欺に遭った場合、親に言えないこともあるのではと思う。

【中川部会長】 刑法犯や詐欺・経済犯罪、性犯罪などがあるが、SNSを使った通知を入れる仕組みを開発できないかという意見を伝えてほしい。

【事務局】 奈良県警の「ナポくんメール」には犯罪発生状況や防犯情報などもある。「生駒市こども安全メール」も「ナポくんメール」も、不審者情報など緊急を要するものを即時メールで案内することが目的のため、スマートフォンの使い方の啓発を促すようなものはない。

【吉田委員】 緊急情報だけでよい。

【事務局】 そうであれば、「生駒市こども安全メール」にも不審者情報がある。

【吉田委員】 詐欺件数が増えているときに緊急で知らせてほしい。

【中川部会長】 どの時点で緊急と判断するかが難しい。

【事務局】 市に情報が入ったらホームページに上げている。同じ内容を「安全いこま」というアカウントでツイートもしているため、ツイッターをしている人は、ある程度タイムリーな情報を見ることができる。

【中川部会長】 まだ研究や開発の余地がありそうである。SNS関連を使った緊急速報の整備をさらに努めてほしい。評価はCで良いか。

【各委員】 (異議なし)

## (2) その他

【事務局】 (基本計画原案作成シートについて説明) (事務連絡)

【中川会長】 これをもって第2回総合計画審議会 第一部会を終了します。

— 了 —